



PRP療法をご存知ですか？

PRP(多血小板血漿)療法とは？

患者さん自身の血液中から治療に必要な成分を抽出し、患部に注入する再生医療です。

PRP療法は、国内では歯科口腔外科や形成外科分野での使用にはじまり、近年は整形外科領域でも様々な分野での臨床使用の報告がありますが、その成績に対する見解は一定しておらず、まだ治療法としては確立されていません。しかしながら、スポーツ障害などに対して低侵襲な治療かつ早期回復などの臨床成績の報告もあることから、今後の発展が期待されている再生医療です。

整形外科分野でPRP療法の報告がされている事例

テニス肘	野球肘	ゴルフ肘
足底腱膜炎	筋挫傷	肉離れ
膝蓋腱の炎症(ジャンパーズニー)		

など、詳しくは主治医にご相談ください。

※PRP療法は保険の対象外です。費用について詳しくは整形外科へお尋ねください。

※PRP療法を行う医療機関には再生医療法(再生医療等の安全性の確保等に関する法律)の遵守が義務付けられています。



遠心分離後のイメージ

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)で承認された専用キットを使用することにより、15分の遠心分離一回で患者さんの自己血から血小板を収集・分離し高濃縮の自己由来血液成分(L-PRP:高白血球多血小板血漿)を作ることができます。L-PRPは活性化されると各種成長因子が放出されます。



ZIMMER BIOMET
Your progress. Our promise.™